



期末テスト前の学習時間 1日平均 3.43 時間

6月19日（日）～6月28日（火）の10日間、学年プログラム委員会主催の「学習強化期間」として1学期期末テスト目標「家庭学習時間の学年合計を5040時間以上」を目標に取り組みました。結果は、下記の通りで**5755.8時間**でした。「家庭学習時間の一人30時間×168人=5040時間以上」の目標をはるかに上回って達成しました。前回の1学期中間テストでは50

家庭学習強化期間 6月19日～6月28日									
	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月23日	6月24～26日	6月27日	6月28日	合計
1年1組	121.5 <small>121.5</small>	90 <small>211.5</small>	84.5 <small>296.0</small>	94 <small>390.0</small>	100 <small>490.0</small>	370.5 <small>860.5</small>	102 <small>962.5</small>	224.5 <small>1077.0</small>	1077.0
1年2組	113.8 <small>113.8</small>	90.8 <small>204.6</small>	89.5 <small>294.1</small>	114.5 <small>409.6</small>	124 <small>533.6</small>	417.5 <small>951.1</small>	127 <small>1077.1</small>	133 <small>1210.1</small>	1210.1
1年3組	113.5 <small>113.5</small>	70.5 <small>184.0</small>	70.5 <small>254.5</small>	102 <small>356.5</small>	94 <small>450.5</small>	377 <small>827.5</small>	106.5 <small>934.0</small>	120 <small>1054.0</small>	1054.0
1年4組	139.5 <small>139.5</small>	120.7 <small>260.2</small>	103.2 <small>363.4</small>	103.5 <small>466.9</small>	116.4 <small>583.3</small>	454.3 <small>1037.6</small>	152.5 <small>1190.1</small>	147.5 <small>1337.6</small>	1337.6
1年5組	134.5 <small>134.5</small>	85.3 <small>219.8</small>	75.5 <small>295.3</small>	95.8 <small>371.1</small>	95.5 <small>466.6</small>	389 <small>855.6</small>	106.7 <small>962.3</small>	94.8 <small>1077.1</small>	1077.1

テストは「運だめし」ではなく「努力だめし」

1日平均3.43時間 学年合計 5755.8 時間 (1日30時間以上達成)

59.7時間だったので、696.1時間も増加しました。皆さんよくがんばりました。学年プログラム委員の声掛けのおかげです。素晴らしいことです。次回の10月に行われる2学期中間テストでも、「家庭学習時間の一人30時間×168人=5040時間以上」を達成してほしいと考えています。

1か月後は初めての通知表

1か月後は中学校で初めての通知表が渡されます。歓喜・驚愕・消沈…まさに学期末の人生模様という気がします。しかしここは冷静に構えましょう。通知表は専門家（教師）による評価の結果ですから、「数字と〇だけを見るのではなく、どの観点がどんな評価を受けているのか」ということを読み取って欲しいと思います。自分を知るよいチャンスです。自分のできているところとできていないところをしっかりとおさえ、来学期の目標を絞りましょう。また、「説明責任」を果たしましょう。家に帰り、家族の人になぜこういう結果なのか自分でちゃんと説明しましょう。きっと何か熱いものがこみあげてくるはず。その思いを大切にしてください。すなわち、通知表はある意味で先生方から君たち一人ひとりにあてたメッセージでもあるのです。気持ちを読み取ってください。

学習の記録					
教科	おもしろ内容	1学期		2学期	
		学習	評価	学習	評価
国語	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
数学	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
理科	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
社会	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
英語	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
総合的な学習の時間	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
道徳	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度				
特別の教科 道徳					

総合的な学習の時間												
前期			後期									
特別活動												
前期			後期									
学習活動												
生活活動												
学校行事 部活動 その他活動												
学校生活のようす												
おもしろ内容												
基本的な生活習慣		1学期	2学期									
健康・体力の向上												
自主・自律												
責任感												
創意工夫												
思いやり・協力												
生活習慣・自然環境												
勤労・専攻												
公益・公平												
自覚心・自働心												
出席簿の記録												
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
出席日数												
出席率												
欠席日数												
欠席率												

通知表はある意味で先生方から君たち一人ひとりにあてたメッセージでもあるのです。気持ちを読み取ってください。

参考になる？林修先生の白熱教育法！

1. ゲームで成績は下がる！分岐点は2時間

子どもにゲームをやめさせても勉強時間は増えないという文部科学省資料もあります。ただし、ゲーム時間が1時間未満だとさほど影響はありませんが、1日2時間以上ゲームをすると成績に大きく関係することが分かっています。時間を区切ってやれるかどうか自己管理能力も必要です。



2. 勉強は「夜中」と「朝早く」どちらがいいのでしょうか？

自分で試してみて成果が出た方。ちなみに林先生の高校時代の生活リズムは、「午後7時高校から帰宅後寝る。深夜2時～早朝5時、起床後に3時間勉強」だそうです。どういった勉強法がいいですか、と聞く学生はいろいろなやり方を試していないとのこと。まずいろいろやってみる中で、合う合わないを試してみましょう。

3. がんばっているのに成績が上がらない子はどうしたらいい？

単純に勉強量が足りない。結局、自分にあった勉強法をみつけるしかないのです。トップクラスと比べると自分のがんばりなんてちっぽけなものです。自分はとても「頑張ってる！」と思ってたけど、他の人はもっと頑張っているのです。心を入れ替えよう。「自分ではやっているつもり」、その考えが自分の限界をつくってしまうのです。頑張ろう。

4. やる気を上げる魔法の言葉「嫌なら勉強やめればいい」

勉強は^{せいぞろい}贅沢品です。やる気がないなら勉強はやめちゃっていいと思います。「やる気がないならやめなさい」。なぜなら、世界中には勉強をしたくてもできない子どもがたくさんいます（貧乏で働かなければいけないなど）。それに比べて、あなた方の置かれた状況は恵まれています。それなのにやる気がでないというのは^{せいぞろい}贅沢です。また、林先生以外の人からは「どんな小さなことでもいいので成功体験をつくりましょう。」というアドバイスも…。

5. 最も大切な教科は？

国数社理英で一番勉強しておくのと良い科目は何なのか。最も大切なのは数学と断言。その理由とは、数学ができると、物の捉え方や見え方が変わるそうです。勉強していても、いまいち日常生活の中で使うことがあるのか、謎の方程式など数学を覚えても役に立ちそうにないと思うが、数学を理解することができれば、見え方が変わるからもったいないそうです。例えば講演会の時などに、参加者の4人の方と写真を撮ることとなった場合、4人なので全部でたった15通りと計算することができます。林先生と写真を撮りたい4人との組み合わせは全部で16通り、全員いなかったら林先生の1ショットになるので、(4人全員がいないという組み合わせになるため) その1引くので $16 - 1 = 15$ 通りとなります。数学を学んでいればそのことが一瞬で処理することができます。数学的思考がある人は、日々の生活での解決法が違います。数学的思考に鍛えられると、頭の中で脳が勝手に働き、解決法のひらめき方も違います。頭の中は常に学んだ数学によって、生活に生かされているのだそうです。

